

奈良市クリーンセンター建設に関する意見交換会（概要）	
日 時	1回目 平成28年7月28日（木）午後7時から午後8時30分まで 2回目 平成28年7月31日（日）午前10時30分から正午まで
場 所	奈良市立興東小学校体育館（須川町1424番地）
主催者側出席者	仲川市長、向井副市長、南環境部長、新井環境部次長（31日のみ）、奥森環境事業室長（31日のみ）、辰己環境部参事、久保田環境部参事、松田クリーンセンター建設準備課長、中嶋クリーンセンター建設準備課主幹、今田クリーンセンター建設準備課長補佐、大石クリーンセンター建設準備課主任
参加人数	1回目 東部地区住民ほか20名程度 2回目 東部地区住民ほか10名程度

#### 意見交換会 次第

##### 1. 開会あいさつ

##### 2. 出席者紹介・経過報告

松田クリーンセンター建設準備課長より、主催者側出席者の紹介、奈良市のこれまでの取り組みを説明し、クリーンセンター施設基本計画及び国道369号線等の道路整備（案）の概要説明を行う旨案内

##### 3. クリーンセンター施設基本計画等の説明

大石クリーンセンター建設準備課主任より、配布資料及びパワーポイントを用いて説明

##### 4. 国道369号線等の道路整備（案）の説明

中嶋クリーンセンター建設準備課主幹より、パワーポイントを用いて説明

##### 5. 意見交換

要旨については、次項以降に記載

## 意見交換 概要

7月28日開催分

### 意見等)

施設の建設にあたって、候補地のどのあたりに建設を予定しているのか。

道の設置を考えているのならば、目安がついているのなら、答えられるのなら答えてほしい。

また、生活排水の処理をどのようにするのか、浄化槽をどのあたりに建設するのかによって排水を直接赤田川へ流すのか、国有水路を経て最終赤田川へ流すのか市で検討していると思うので答えてほしい。

奈良市民にどこにどのようなものができるのか、まだ明白にされていない。木津川市の職員も理解されていないようで、府県境界付近で事業をするものとするれば、市の狭間になっている。市とのトラブルが増えてきている。建設するのであれば、もっと具体的にわかりやすく、パンフレットや、今の時代であれば、模型図を作り公開するか、そのような取り組みを進めていただきたい。今の状況では、賛成・反対する以前に、細かい中身を示してもらわないと理解しにくい。その計画を奈良市民や木津川市にも公表していただきたい。

市)

配置計画は決まっていない。予定地の面積は33haであるが、施設設置に必要な面積は7～10haあれば建設できていると考えている（全体の3分の1から4分の1）。

配置計画については、住民の方のご意見を伺いながら進めていきたい。

生活排水に関しても、まだ配置が決まっていないので、今のところ何とも言えないが、配置が決まれば、住民の方の意見を聞きながら設計の中で進めていきたい。

市)

この事業には、環境影響評価が必要になるので、どの位置が一番良いのかも含めて、検討していく。隣接の木津川市との連携についても、事業の進捗に併せて協議を進めていく。

### 意見等)

基本的には、クリーンセンター建設移転には、反対である。

市は金がないといっているが、クリーンセンターに関しても、金がないのなら、今ある施設をリフォームして活用するのが一番安上がりであると思っている。

公害調停により、今の移転計画があると認識しているが、公害調停を卓袱台（ちゃぶだい）返して、今の施設を改修して使えばよいと考えている。

他都市では、町の真ん中に工場が建設されている事例がいっぱいある。なぜ、山の中に作る必要があるのかわからない。今の日本の技術であればクリーンさは確保できている。

市)

今日に至る経緯の中で、公害調停の申し出があり、当時の歴代市長や議会でも全会一致で、その方

向性を是とされ、市民の代表である市長と議会双方で移転建設をするべきである、すなわち公害調停を締結すると判断をした。

わたくしも過去の経緯を踏まえて、その方向性に基づいて取り組みを進めている。今までの経緯を考えると簡単には卓袱台（ちゃぶだい）返しはできない。税金の使い道をより適正に、もっとお金を無駄遣いせずに、最適なコストで市民のために尽くすということについては同じ考えである。

公害調停について、そもそもどのくらいの数値であったのかは、今手元に数字がないが、当時から環境基準を上回っていたということではないと聞いている。

公害だからではなく、公害に近い状態であるとの状況に対して移転を求めるという訴えであったと考えている。

#### 意見等)

移転によりパッカー車の燃料代が一日にどのくらい多くなるのか。また、年間どのくらいの費用が掛かるのか試算をしたのか。

市)

試算は行っていない。

建設にあたってリレーセンター（積み替えて運搬する）方式が、交通量の低減に有効であるということで、その方式を検討している。

#### 意見等)

そのようなことをしっかり計算し、東部の人間だけでなく、奈良市民すべてが納得できるような方法を考えなければいけない。いずれはどこかに作らなければならない。そのためにはどうすべきかを市職員の一人一人が考えて、もっとスムーズに事を運んでいかなければいけない。

隣の木津川市では何年か前に合併しただけなのに、もう建設工事が始まっている。

奈良市は、なぜか業務の進み具合が遅い。奈良市の体質かもしれないが、もっと迅速に動かなければいけない。資料がないとか言ってこの事業に何年かかっているのか。

ここにやるべきと決定して動くのは、仕方がない。その経緯をみんなにわかりやすく説明しなければいけない。

市)

今のご意見を踏まえて、迅速に事業を進めていきたいと思います。

#### 意見等)

リレーセンターを建設し、積み替えて運搬するということですが、現環境清美工場でリレーセンターを建設するということですか。現周辺住民の反対もあると思うので、やめたらどうですか。どこで積み替えることを考えているのですか。

市)

奈良市では、リレーセンターという仕組みを考えている。これは、いったん集積し、大型車でたとえば夜間のうちに運ぶなどして、極力地域の渋滞に繋がらないようにという仕組みを考えている。

場所をどこにするのかということについては、今の段階では、まだ決まっていない。策定委員会では、今の工場敷地内をリレーセンターとして活用できないか議論を行っている。

#### 意見等)

公害調停では、今の場所を更地にするということであり、再度リレーセンターなどの施設に使ってほしくないということが趣旨である。まだそのようなことを考えているのか。公害調停を守るのなら本当に守りなさい。守らないのなら卓袱台（ちゃぶだい）返しなさい。

市)

どのような方法ができるのか、いろいろ考えているが、日常生活の中で渋滞問題がある。すべての車線を4車線化してほしいとの要望をいただいていた。しかし、すべての区間となるとかなり難しい。しかし、新しいグリーンセンターができることにより、新たな渋滞が生まれるということは、避けなければならない。夜間に大型車両による搬入という形で、渋滞問題についてはご理解いただけるように、解決策として考えている。

今の左京の皆様にとって、100%の答にはならないかもしれないが、今の場所から施設が移転することは、歴史的なことだと思いますので、このあたりでなんとかご理解をいただけないかを今話をさせていただいている。おっしゃっている主旨は理解しているつもりです。

#### 意見等)

奈良市より恩恵を受けたかどうかかわからないが、変わってきたことは、中ノ川町にゴミ捨て場ができ、法用口にゴミを埋め立てて、昭和新山のように大雨が降ると山崩れになる。今回のグリーンセンターが建設される話があったり、開発されるといったらゴルフ場ばかりで、明るさがない。最近の話で東部診療所ができたと聞いたら、週二回で奈良市から期待外れのことばかりで、恩恵を受けていない。もっと東部の住民の生活を向上させるようなことを今までなかったのに、奈良市が安い土地を求めてこのあたりに造るということで、いらぬものばかりを持ってきているのが、自分が生まれた土地を汚されている、軽く見られているという思いがして腹が立つ。

建設するのであれば、住民に恩恵があるような施設（温室、プール、熱量を利用したもの、そこに行けば住民が和めるような場所）にしてほしい。

交通が不便であるため皆町へ出て行った。残っているものは、年寄りばかりで、サル・イノシシも増えた、よくわからない動物も増えた。

いい施設を建てるのであれば、市役所の前にできるホテルの場所に建設すれば、交通の便もいいし、公害もないのであれば、そこに建設すればいいと思う。

市)

思いのたけを述べていただきありがとうございます。

この地域には明るい話がないといった厳しい声をいただきました。いろんなニーズの中で、バランスを取りながら税金の使い道を決めている状況である。

行政が行う事業であるので、基準を満たして、最新でいいものを作ることが前提である。同時に、地域との共生・連携が大事であると思っている。地域の方と繋がりながら、ともに栄えていくような形を目指していきたい。単にゴミを持ってきて埋めて終わりではなく、クリーンセンター（熱回収施設）は、燃やして終わりではなく、燃やすことに伴って生まれるいろんな副産物もある。

基本計画では、いろんな案を示し、もっとこうしたほうがいいということがあると思うし、特に人口が減る中で、若い方も含めて、地域に住んでいただくためには、どのようなものがふさわしいのかということが大事である。

ご意見をいただきながら、共に考えていきたいと思っている。

#### 意見等)

なぜ、奈良市の東部にクリーンセンターを持ってこなければいけないのか。どうしても東部でないといけないのかという何かがあるのか。また、4車線化についてはできないことはわかっている。国も交えて、できないが地域が納得できることがあれば、みんなご理解いただけと思う。

地区の会議で、役所のほうからいろいろ提案されたが、ほとんどの若者が外へ出ていく。住みにくいから外へ出ていくのである。住みやすいように行政として考えて欲しい。

診療所もオープンしたが、車がないといけない。だから、バスで市街地の病院へ行ってしまう。しかし、東部には病院が必要である。みんなが利用しやすいような病院にしていきたい。

今の場所がだめなら、ドリームランド跡地にお願いできればと思う。どうしても必要なものは、何とかしなければいけない。地域の人間が納得できるような方法で考えてほしい。

市)

診療所については、週2日ということであるが、もっと利用していただければ、今後の拡充も検討もできている。不便だから出ていく等の悪循環があると思うので、利用頻度を高めていただいて、存続できるように、サービスが拡充できるようにご協力していただけたらと思っている。診療所へのアクセスについても課題があると思っている。他にも東部地区の抱える地域課題があると思うので、東部の方にとってどのような町が望ましいのか、具体的に悩みや課題を解決してくれる政策がないのかわたくしも大事なものと思っています。

クリーンセンターのことだけではなく、東部全体のいろんな活性化に向けた取り組みは、市としても重要性を持って取り組んでいきたいと思います。

市)

地元の方と要望を聞きながら行ってきたい。

皆さんと一緒にこの地域、東里地域に限らず、この施設を一つの契機として、今回の施設が皆さんに受け

入れていただけるのか、今日の意見では厳しい意見が多いですが、地域の将来を考えてどうなのかなということを考えていただきたい。

#### 意見等)

市は、この 3 年間事業系廃棄物の減量に取り組んできたことにより、廃棄物の量が減っていると思うので焼却炉の数を 3 炉ではなく 2 炉にして、点検の時は外部にごみ処理を委託してはどうか。

新たに施設をするのであれば、市民の皆様にももっと協力していただき、ゴミの減量化や分別の徹底を市民全体で取り組むべきである。そうすればもっとゴミが減ると思うし、さらにリサイクル率を上げればさらにゴミが減ると思う。

市)

奈良市民の皆様にも分別の協力をいただくことは当然のことだと思う。ここ数年、事業系のゴミ量が減ってきているのはいろんな要因はあるが、皆様のご協力のたまものだと思っている。一方、市民の方の家庭系のゴミについても、ここ 10 年くらいで 1 割強位減ってきている。人口の変化もあるが、1 人当たりのゴミ排出量も年々減ってきている。量が減るが質はどうかについて、分別が十分できていない二度手間をかけていることについても認識はしている。

特定の地区にクリーンセンターということで全市民の負担をお願いするのであれば、すべての市民に対し、さらなる分別やゴミ減量の協力をしていただくよう働きかけていくことが、行政の役割であると思っている。全市民が関係のある事業であるという意識でしっかりと取り組んでいきたいと思う。

#### 意見等)

クリーンセンター建設の是非を考えるのに何を持って考えればいいのか悩んでいる。東部からは道路の 4 車線化ということで要望させていただいた。しかし、それはだめだ。そして部分改良である。その代りにリレーセンターを作って大型車で搬入するという話である。その話も具体化はされていない。どこに造るか、地元が了承したのか。

クリーンセンターの話があったとき、東部振興計画があった。これは、クリーンセンターとは関係がないという話であったが、もっと具体的な話が出てきてもいいのではないかと。この状況の中でクリーンセンターについて考えてくださいと言われても、何を持って考えればいいのか悩んでいる。受け入れられる状況ではない。

東部をどのように考えているのか、3 月議会で企業局が、東部の水道・下水が赤字だから三セクにという話があった。東部は奈良市の水源地である。この水源によって奈良市の水が西部へ供給されて発展したということがある。水源地を利用するところは一体で考えていただきたい。赤字だから三セクにするという考えは東部についてどのように考えているのか。

市)

東部振興の具体策がなかなか見えないというご意見でございますが、クリーンセンターの問題と東部振興の話とは、エリアでは同じであるが、クリーンセンターを受け入れていただくから、東部振興をするということは

違う。クリーンセンターの建設に伴っての地元還元は、これはこれでしっかりと考えたいと思っている。

前段階で話をしている関西の軽井沢構想もしくは、東部振興策については、奈良の東部地域の資源を生かしたまちづくりや活性化をしていきたい、そういった思いで掲げている。東部地区はエリアも広いし、地域の声も様々であるので、即効性のある取り組みは十分できていないが、興東診療所の設置も一つの姿であり、また、地域おこし協力隊が地域に入っているいろいろなプロジェクトを立ち上げている。そういったことも一つ一つではあるが、東部地区に継続的に力を入れていきたい、目を向けていきたいという思いの表れでもある。

国の地方創生の事業があったので、東部の地方創生をどうするのか、いろいろと方策も考えている。なかなかすぐということにはならないが、東部地区の魅力を生かした地域の活性化を考えていきたい。

東部の水道事業のP P Pについても、皆様にご心配をおかけしていることかと思えます。上下水道の事業については、これからどんどん人口が減るなかで、どのように採算をとっていきのかが大事な問題である。水道管の漏水等に迅速に対応するにはコストもかかる。このコストが賄えなければ、料金を上げなければならない。地域の中で採算が取れるような形を今のうちに手を打っておけないかということで、このP P Pやコンセッション事業を考えているところである。奈良市全体のいろんな上下水道のインフラのこれからの方針・設備投資を考えると、少し経営的な視点で改革をしていくことも方策ではないかと考えている。これについても、企業局で説明会をしていると聞いている。皆さんの意見を伺いながら丁寧に検討していきたいと思っている。

市)

このクリーンセンターは、総額300億円の事業であるので、何とかこの施設を東部地域の問題の解決の一助になるように考えていただければと思っている。

## 意見交換 概要

7月31日開催分

### 意見等)

クリーンセンター移転について反対である。地区自治連合会からの白紙撤回の申し入れがあるにもかかわらず、なぜ、奈良市は、このような意見交換会で施設の説明をするのか。この意見交換会開催の趣旨を説明してもらいたい。

東部地区は4車線化ができないのなら、絶対反対であるとの考えを奈良市はなぜ理解できないのか。反対する理由は、奈良市の財政状況から、不合理で税金の使い方に工夫がないからです。28日の交換会では、事業費300億円とっておりましたが、お金がなく、施設維持管理も十分できていない奈良市にとって、これ以上ない無駄遣いではないか。

奈良市は、労使協定（清掃工場でのトレーニングルーム設置）を反故にできるなら、なんら公害のない公害調停を破棄すればいい。

老朽化を理由にしているが、まだまだ、修繕すれば、現工場を使用することは可能である。新設に300億円をかける必要はまったくない。

今でも、産廃業者のダンプが大変多い中を地域の住民は、怖い思いをしながら、運転している状況の上に、クリーンセンターがくればどんなことになるか、これ以上、限界集落の市民をいじめないでほしい。

市)

開催の趣旨については、これまでは、地域の代表（自治連合会など）とクリーンセンターの建設についてお話することはあっても、地域の方々と直接お話する機会はなく、この建設計画に地域の方々のご意見を取り入れ、よりよいものにするための第一歩として、今回の意見交換会を開催させていただきました。

これまで、3代の市長が取り組んできたこの問題であります。確かに、当時でも環境基準はクリアしていますが、私も一期目の選挙に出馬するにあたり、公開質問の中で申しましたが、いままでの経緯を踏まえ清掃工場の移転を継承することとしました。

### 意見等)

建設候補地の選定の経緯はどうなっているのか。

建設候補地周辺の住民が28日、本日も来られていないのはどうしてなのか。自治連合会との話し合いの前に、事前に市長はじめ、もっと、なぜ周辺住民のもとへ足を運ばなかったのか。

市役所の部署、策定委員会の委員に、農業分野の専門家（特に畜産）を置くべきではないのか。

市)

公害調停のなかで策定委員会を設け、その委員会で建設候補地の選定条件として、工場用地としての一定の規模（10ha）が必要、公共施設（学校・病院など）から離れている、道



路状況などを踏まえて、15か所に選定しました。その後、住宅地や活断層からどれだけ離れているのか等で9か所に、さらに、4か所、2か所と絞り込まれ、その後、現地をみて、経済効率や道路問題や環境の問題などを検討した結果、現在の建設候補地を選定しました。

建設候補地周辺地域の方々に、今後、どのように向き合っていくかについては、今回の意見交換会の様子も含め、市として改めて考え直していきたいと思っています。

#### 意見等)

グリーンセンター建設稼働となれば、その周辺のコメなどの作物に対する風評被害が発生したときの対応はどうしてもらえるのか。また、浄瑠璃寺等周辺の遺跡に対してはどのように対応するのか。

市)

科学的分析を行い、安全であることを示し、風評被害がもしおこれば、その対応もさせていただきたいと思っています。また、遺跡についても、配慮していきたいと考えております。

#### 意見等)

奈良市の財政が大変厳しい状況であることは、自治会からの市への要望についての対応が、現在は財政上の理由から遅滞していることから判断できます。実際、奈良市の経常収支や借入金の額等を私なりに勉強したが、他の市町村と比較しても厳しい状況であります。そのような状況の中で、奈良市にとって必要であることは理解できますが、新グリーンセンターや新斎苑の建設が奈良市の財政を圧迫していくのは明らかでありますので、建設コストの縮減を十分検討してもらいたい。

市)

先日の意見交換会で新グリーンセンター建設費用を300億円規模と申しましたが、その財源内訳ですが、国からの補助金が100億円で、その他一部別の補助もありますが、実質的な奈良市の負担は200億円程度になります。当初の建設費用も重要であります。今後のランニングコストも含めたトータルコストで検討し、グリーンセンターの規模を検討していきたいと思っています。

#### 意見等)

現在の環境清美工場の場所は、もともと山であり、そこを開発し、ごみ焼却施設が建設され、そのまわりに住宅ができてきたと聞いています。今回、候補地にグリーンセンターが建設されると、また同じように、周りが住宅地になったりするのか。現在この地域は、市街化調整区域であり、農業振興地でもあります。

自分の土地であっても、自分の家を建てることのできない制限もあります。過疎化が進むこの地域の活性化のためにも、調整区域などの制限を撤廃し、建物が建てられるような状況になってから、グリーンセンターを建設すればいいのではないかと。また、今回のグリーンセンター建設については、まずは地域の自治連合会と話されるのは理解できるが、実際、その地域の住民にはその情報が伝わっていないこともあります。このような問題については、地域の住民にもその情報が降りてくるような機会を作ってもらいたい。

また、先程の説明で道路改良の話がありましたが、以前に県道を改良が行われましたが、実際、道路が中途半端な状況で終わっているところもあり、今回の説明で道路改良しますと言われても本当に実施されるのか額面どおり信用できない。

市)

個々の地域の方々への情報提供が十分でなかったことは認識しております。この地域の活性化の取り組みについて、どのようなものが有効であるかを今後も皆様と相談していきたいと考えております。また、道路改良につきましても、県と十分協議していきたいと思っています。